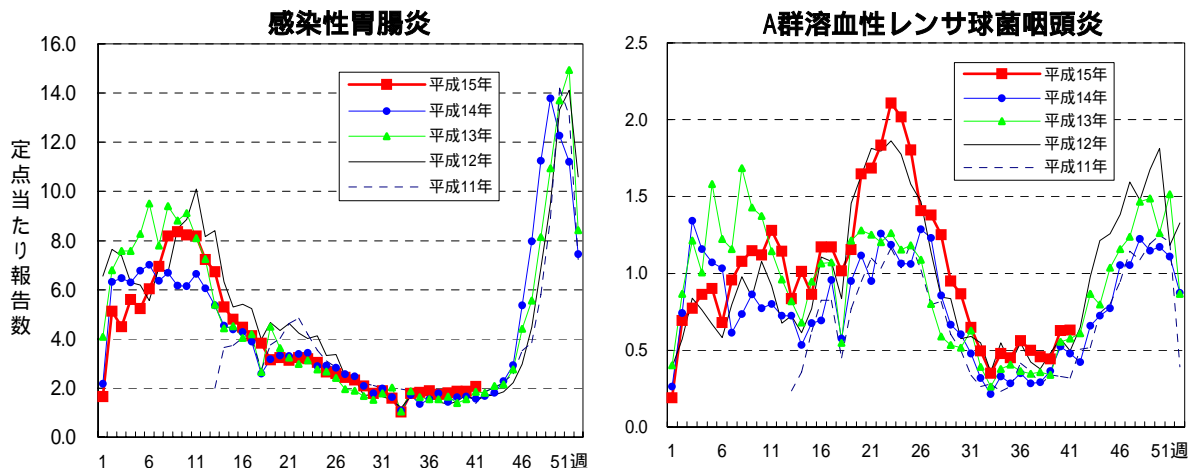


トピックス

重症急性呼吸器症候群 (SARS) が 1 類感染症へ

10 月 10 日に「改正感染症法」が成立し、その中で痘そう及びこれまでは指定感染症とされていた SARS が新たに 1 類感染症に指定されました。これにより、SARS も今後はエボラ出血熱などその他の 1 類感染症と同様な対応がとられることとなりました。その詳細については、情報が入り次第お知らせします。

流行状況



疾患名	前週	今週	備考
<u>感染性胃腸炎</u>	1.9 →	2.1 ↗	細菌あるいはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢症
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	0.63 ↗	0.63 →	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<u>マイコプラズマ肺炎</u>	0.23 ↘	0.23 →	マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 6 定点からコメントでの患者発生報告あり
定点当たり報告数	定点当たり報告数	定点当たり報告数	
↘ 減少	→ 横ばい	↗ 増加	

感染症についての説明及びグラフ総覧については、愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O1 4ヵ月男、1歳男、2歳男、8歳男、4歳男、14歳女

病原性大腸菌O18 3歳女、4歳男

病原性大腸菌O25 5歳男、58歳女

病原性大腸菌O27 27歳女

病原性大腸菌O124 8歳女

病原性大腸菌O146 1歳女

病原性大腸菌O153 2歳男

ロタウイルス 大人3名、子供7名

黄色ブドウ球菌 4ヵ月男、8歳女、19歳女、58歳女

感染性胃腸炎が多すぎる印象を受けます。ロタウイルス感染症が多くなっ
てきており、大人の感染者も増えております。

【尾西市 城後小児科】

感染性胃腸炎が増加してきましたが、多くは軽症です。

一部の保育園で流行性耳下腺炎の流行が続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

今の所おちついていきます。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

6歳女、3歳女、5歳男 姉妹マイコプラズマ肺炎

【春日町 丹羽医院】

29歳男 マイコプラズマ

【師勝町 師勝クリニック】

尾張東部地区

マイコプラズマ肺炎 9歳女

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週は幼児、学生のマイコプラズマ感染症が非常に多くみられました。

(入院例はなくマクロライド系抗生剤で軽快)

その他今週は目立った感染症はありませんでしたが、喘息がやはり目立ち
ました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

感染症は特記するものはありませんが、喘息発作が多いです。

【春日井市 かちがわ北病院】

咽頭結膜熱がまだ多いようです。

【小牧市 志水こどもクリニック】

2歳2ヵ月女 帯状疱疹 臨床的には水痘既往なし

2歳女 SSSS^{*1} (MRSAによる)

溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎 散発

【美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院】

*1 SSSS: ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群

病原性大腸菌O1、カンピロバクター、ペアーで検出 2人あり

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

3歳男、5歳男2名、5歳女、8歳男、32歳女 StrepA^{*2}(+)

5歳女 病原大腸菌O1

30歳女、31歳男 イムノカードアデノウイルス^{*3}(+) (咽頭結膜熱)

*2 StrepA : A群 溶連菌抗原検出用キット

*3 イムノカードアデノウイルス : アデノウイルス抗原検出用キット

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

4歳男 病原大腸菌O26

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

4歳女 サルモネラO4

9ヵ月女、10歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)

10歳女 病原性大腸菌O8 VT(-)

12歳女、3歳男 イムノカードSTアデノウイルス+

3歳男 病原性大腸菌O111 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

4歳男 カンピロバクター

10ヵ月女 病原性大腸菌O63

3ヵ月男 病原性大腸菌O125

1歳男 病原性大腸菌O25

8歳男 病原性大腸菌O166

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

ムンプス、一部保育園にて流行中 父親も今週3人目です。

【知立市 宮谷クリニック】

2歳女 ヘルペス口内炎

【西尾市 やすい小児科】

1歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)

3歳女 病原性大腸菌O111 VT(-)、病原性大腸菌O18 VT(-)

2歳女、6歳男、13歳女 マイコプラズマ肺炎

【幸田町 とみた小児科】

マイコプラズマ肺炎 7歳女

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

4歳男 サルモネラO9、病原性大腸菌O18 疑い

2歳男 カンピロバクター

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

溶連菌感染症が散発。幼児を中心にカンピロバクター腸炎が多く見られます。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

3歳男 カンピロバクター腸炎

6歳男、6歳女 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 野村小児科】

マイコプラズマ上昇例が多い。

【豊橋市 富田小児科】

1～3類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

細菌性赤痢

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	豊田市	48	女	9 / 29	9 / 29	10 / 7		推定感染地域 国内
2	豊田市	56	女	10 / 1	10 / 6	10 / 8		推定感染地域 国内
3	豊田市	11	男	9 / 30	10 / 9	10 / 9		推定感染地域 国内
4	豊田市	19	男	9 / 30	10 / 7	10 / 11		推定感染地域 国内
5	半田	61	男	10 / 3	10 / 5	10 / 8		推定感染地域 エジプト

腸管出血性大腸菌感染症

1	豊橋市	17	男	10 / 4	10 / 6	10 / 11	0157 VT1(+) VT2(+)	
---	-----	----	---	--------	--------	---------	--------------------------	--

全数把握の4類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

レジオネラ症 1例 (81歳)

梅毒 1例 (早期顕症) 36週分の追加報告

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

公園では秋のバラが咲き揃い、コスモスが風に揺れています。朝夕、めっきり冷え込むようになりましたが、日当たりのよい庭ではフジバカマの花にアサギマダラが舞っていたりします。いつも貴重な情報を有難うございます。9 月後半 / 10 月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市：名鉄病院福田先生からはアデノウイルスと思われる急性咽頭炎、扁桃炎が尾を引くように続き、水痘散発、無菌性髄膜炎やマイコプラズマ肺炎が比較的目立つ、城北病院渡辺先生からはアデノウイルス陽性者がまだ散見、感染がらみの混合型喘息がやや多く、喘息の初発患者が多くなった。ブ菌性火傷様皮膚症候群がまだ散発、DPT 未接種で 2 歳児の百日咳 1 例あり、第二日赤岩佐先生からは気管支喘息以外は目立つものはない、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎 1 例、感冒で鼻水だけの例と、一晚発熱（2 歳～6 歳、37.6～40）する例あり、中京病院柴田先生からはマイコプラズマ肺炎あり、労災病院山田先生からはカンピロバクタ - 腸炎とマイコプラズマ肺炎が目立ち、手足口病少々、伝染性膿痂疹目立つ、大同病院水野先生からは特に目立つものはなく、気管支喘息発作及び肺炎・気管支炎（マイコプラズマ、クラミジアなど）が目立ち要入院例ありとのお手紙をいただきました。
- 2) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは喘息が増加中で要入院例が目立つ、加茂病院梶田先生からは喘息は増加しているが、感染症はマイコプラズマ肺炎がやや増加している以外は特に目立ったものはない、知立市近藤先生からはムンプスがパラパラ、嘔吐の感冒がやや多い、碧南市永井先生からはムンプス散発、マイコプラズマ肺炎が時々、豊橋市宮澤先生からはマイコプラズマ感染症、突発疹、単純ヘルペス感染症、感冒性嘔吐症などが目立つとのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2003 年 9 月 12 日（78 巻 37 号）

ギネア虫 (dracunculiasis)：ガ - ナ。地域単位のサ - ベイランスシステムとギネア虫の根絶（注。ギネア虫：水系経口感染寄生虫。第一宿主はミジンコ。汚染された生水で経口感染、孵化した幼虫は全身～下腿へ。親虫は尾部を露出して水中に産卵）。2002 年、ガ - ナはス - ダンに次いでギネア虫多発国であり 02 年の届出数は 5,611（前年比 18% 増加）、03 年 1 月 - 03 年 6 月

で 5,416 例（前年同期の 74% 増）となっている。この増加は赤十字により組織された村単位の志願者によるサ - ベイランス網（Community based Surveillance System, CBS）の整備が関与している。CBS はギネア虫については多発地区である北部で 1988 年から開始されている。本報は北部二州のブロング - アファホ州と北部州の訪問調査である。村単位ではまだ志願者の認識と教育不足のため過小報告の地区もある。県単位、州単位では多発地区の把握と重点的対策が進行中。今後、村単位ではサ - ベイランス網の設立と充実、上級機関の監視と指導、最近ゼロとなった地区では最低 3 年間の監視が必要である。

ギネア虫根絶。03 年 5 月 14 - 15 日、WHO 本部で 47 回ギネア虫根絶会議が開催された。症例の診断基準と輸入例の定義、常在地区、再流行地区、新規流行地区、流行危険地区の定義、安全な水供給、汚染された池の水のアベイト処理による殺虫の状況と普及調査、国境をこえた国際協力が必要性が勧告された。

2003 年 9 月 19 日（78 巻 38 号）

破傷風。母子感染根絶：インドネシア。WHO は、破傷風の母子感染（maternal and neonatal tetanus, MNT）根絶の指標として、新生児破傷風（neonatal tetanus, NT）発病が 1,000 出生当り 1 以下としている。このために妊婦、妊娠可能な年齢の女性に対する破傷風トキソイド（TT）接種普及が重要な問題となっている。本報は 2001 年 2 月、11 地区における調査結果のまとめである。接種率：最近の出産前に TT 1 回接種、2 回接種を受けた母親は地区による差はあるが、それぞれ 90% - 100%、80 - 95% であった。妊娠可能年齢者の接種率は TT 1 回が 86 - 98%、TT 2 回が 73 - 98% であった。行政が把握している接種率と、実際に面接や予防接種カードによる調査では妊婦、妊娠可能年齢者ともに実際の調査のほうが接種率良好であった。

接種機会と接種場所を TT 2 回目で調査すると、学校、妊婦教室、出生前教室、任意接種など地区により非常に異なっていた（以上について詳細な表と図あり）。新生児破傷風発病情況：1990 年に 162 例、2000 年 32 例と 80% 減少していた。

ChemiNet：情報の地球化の一つとして化学製品の情報のネット化が進んでいる。

インフルエンザ：03 年 8 月 - 9 月。アルゼンチン：散発。オ - ストラリア：A（H3N2）。カナダ：A 型散発。チリ：A（H1N1）、A（H3N2）。香港：A（H3N2）。メキシコ：散発。ニュー - カレドニア：A（H3N2）。ニュー - ジ - ランド：減少、A（H3N2）。

9 月 12 日 - 18 日届出。コレラ：コモロ、象牙海岸、ギニア - ビサウ、リベリア、ト - ゴ、ウガンダ、タンザニア、ザンビア、香港。

第39週(15年9月22日~9月28日)の4類感染症 (全国)

小児科定点報告疾患

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は週により緩急はあるものの減少し続けている。第16週以降過去10年間の当該週と比較して最高の値であり、都道府県別では愛媛県(1.1)、岐阜県(0.7)、鳥取県(0.7)、高知県(0.7)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週をピークとし、5週続けて減少した後、第35、36週と2週続けて微増したが、その後再び減少し続けている。過去5年間の同時期(前週、当該週、翌週)と比較してやや多く、都道府県別では秋田県(5.6)、岩手県(5.0)、熊本県(4.6)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けており、都道府県別では宮崎県(3.0)、愛媛県(2.2)、北海道(1.9)が多い。

基幹定点報告疾患

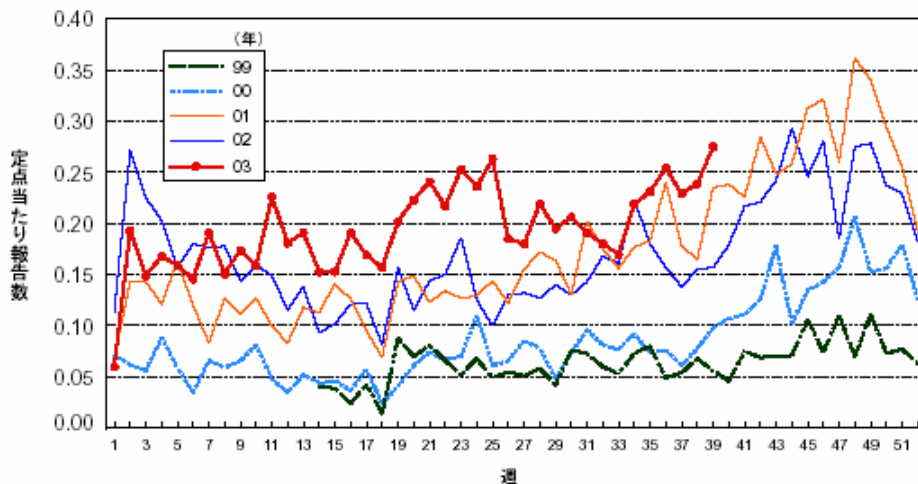
無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は減少して0.10で、都道府県別では福井県(0.8)、栃木県(0.6)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加して0.28で、都道府県別では岡山県(1.6)、茨城県(1.1)が多い。

注目すべき感染症(マイコプラズマ肺炎)

マイコプラズマ肺炎は1999年3月までの旧感染症発生動向調査では、異型肺炎として報告されてきたが、そこでは必ずしもマイコプラズマ肺炎だけでなく、他のウイルス性の肺炎なども含まれていた。しかし、1999年4月以降の発生動向調査では、マイコプラズマ肺炎として独立した4類感染症定点把握疾患となった。また、旧発生動向調査では小児科・内科定点からの報告であったが、現在は全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告となっている。

本疾患は従来、4年周期でオリンピックのある年に流行を繰り返してきたが、近年この傾向は崩れつつある。年間での推移をみると、晩秋から冬にかけて増加がみられていたが、感染症法施行後に新たなサーベイランスシステムになっても、この傾向に変化はない。図に感染症法施行以来の週別の定点当たり報告数を示す。2003年の報告数は、過去の報告より高く推移している。

図. マイコプラズマ肺炎の年度別週別発生状況



特に 5 月下旬～6 月上旬に報告数が多かったが、ここ数週間も報告数の増加がみられており、今後の動向に注意が必要である。今冬の SARS 対策としても、鑑別診断としてインフルエンザやマイコプラズマ肺炎のような呼吸器感染症は重要であり、可能な限り病原体を把握することが望まれる。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第41週(平成14年12月30日～平成15年10月12日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎*	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	47,887	1,449	7,398	28,516	11,859	10,692	1,657	5,512	70	60	6,472	169	4,659	32	1,210	1	7	13	177	0	4
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	38,582	1,082	5,304	19,554	9,508	9,121	1,337	4,418	57	39	4,703	135	3,725	27	881	1	7	12	173	0	4
名古屋	名古屋	70	70	11	14	1	9,305	367	2,094	8,962	2,351	1,571	320	1,094	13	21	1,769	34	934	5	329			1	4	
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,755	75	863	1,239	434	193	39	258	5	2	493	13	426	1	39					
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,341	47	90	1,428	522	886	76	216	2		238	2	162	2	28			1	17	
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1,378	13	129	1,171	173	183	21	105		5	393	1	160	1	20					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,712	44	382	2,461	804	832	139	494	7	1	347	4	247	1	138			1	1	
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	4,291	126	418	1,268	644	780	202	365	3	4	464	7	340	1	70	1	2	2	1	1
	江南	6	6	1	2		1,522	66	327	1,808	570	749	96	332	3	1	210	1	117		47					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,915	19	192	731	223	156	54	237		1	159	1	216		17		1		13	2
	知多	7	7	2	2		2,364	115	458	1,310	629	421	84	316	1	1	343	28	143	2	32					
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	4,159	33	333	257	934	595	158	538	12		361	1	570	3	84					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5,878	78	423	1,216	1,144	923	117	422	5	1	381	14	667		103			2	14	
	西尾	5	5	1	2	1	1,190	17	237	675	444	326	95	177	1	2	143	10	165		51			4	7	1
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	2,409	89	279	1,327	846	487	73	293	14	16	372	12	285	7	106			2	42	
	加茂	3	3		1		489	16	204	433	150	162	13	53	1	3	81		47							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,088	228	613	2,598	862	1,165	96	343	1		364	25	43	7	87		4		38	
	豊川	9	8	1	2	1	2,839	116	354	1,632	1,073	1,213	74	247	2	2	352	13	112	2	59			40		
東三河北部	新城	2	2			1	252		2		56	50		22			2	3	25							

* 西尾保健所から36週(1例)、40週(1例)の追加報告あり

愛知県感染症情報

2003年第1週～第41週(平成14年12月30日～平成15年10月12日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎*	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹	
計	38,582	1,082	5,304	19,554	9,508	9,121	1,337	4,418	57	39	4,703	135	3,725	27	881	1	7	12	173	0	4	
～6ヶ月	518	6	11	232	252	73	7	380	9		70	2	2		5							
～12ヶ月	1,096	39	26	1,258	576	444	47	2,665	13	2	444	27	22		13							
0歳																	3		3			
1歳	3,227	163	132	2,983	1,710	1,653	71	1,270	14	5	1,163	33	175		28				15			
2歳	3,245	172	297	2,221	1,605	1,608	119	82	3	2	901	9	299	1	24				16			
3歳	3,321	167	653	2,177	1,770	1,741	151	8	3	1	830	6	567	2	28				18			
4歳	3,516	161	999	1,915	1,660	1,514	200	1	4	3	563	8	736		23				14			
5歳	2,262	134	1,030	1,500	1,015	994	217	2	2	6	379	6	716	1	30							
6歳	1,825	82	755	1,112	419	470	180	4		1	150	7	436		9							
7歳	1,466	50	440	864	172	210	102	1	1	4	72	5	253		10							
8歳	1,304	39	298	701	113	137	99	3	2	3	32	4	175	1	12							
9歳	1,336	20	173	537	62	66	45			1	35	2	97		8							
5歳～9歳																		3		42		
10歳～14歳	4,860	22	237	1,291	96	95	68	2	2	3	28	17	158	1	35				25			
15歳～19歳	1,574	3	22	370	9	9	1				8	3	14		31			1		4		
20歳～		24	231	2,393	49	107	30		4	8	28	6	75			1	4					
20歳～29歳	2,768													10	143			3		10		2
30歳～39歳	3,054													2	184			3		12		1
40歳～49歳	1,182													2	87			2		5		1
50歳～59歳	892													3	102					2		
60歳～69歳	597													1	62					2		
70歳～														3	47							
70歳～79歳	352																			4		
80歳以上	187																			1		

* 西尾保健所から36週(1例)、40週(1例)の追加報告あり